

		第13回根研究集会に参加して	
		吉田克志	78
		第13回根研究集会発表要旨	79
情	報	第14回根研究集会・シンポジウムのお知らせ	108
		訃報	109
		カレンダー	110
訂	正		113
会	告		113

会員の皆様へ

1. 研究会賞

推薦の締め切りは7月末日です。推薦は会員以外の方でもできます。若手の研究者の方や学生さんを激励したり、この分野での先進的な業績を会として称え、お祝いするために積極的なご推薦をお願いします。選考結果は次号でお知らせします。詳細につきましては44ページをご覧ください。

2. 研究集会・総会

第13回研究集会、および今年度の総会が、6月3日に、緑が鮮やかなお茶畑に囲まれた静岡県金谷町にある農林水産省野菜・茶業試験場にて松尾喜義実行委員長のもとで開催されました。本号に参加報告記事と講演要旨が掲載してありますのでご覧ください(74ページ)。またご出席いただけなかった会員の方々のために、総会資料も掲載しました(会告欄を参照)。

次回の研究集会(第14回)を11月26日(日)に名古屋国際会議場において開催します。なお上記の研究会賞の受賞講演および授賞式もあわせて行います。またこの機会を利用して、前日(11月25日)に谷本英一氏(研究会評議員)をオーガナイザーとしたシンポジウムを開催します。104ページをご覧ください。これらの詳細につきましては、次号に掲載するとともに、研究会ホームページでも随時お知らせしていきます。

会場になる名古屋国際会議場は、来年11月に第6回国際根研究学会シンポジウムを開催するところでもあります(後述)。この組織委員会会議の開催を兼ねて、これらを企画しましたので、ぜひ奮ってご参加していただけますようご案内申し上げます。会場は立派なところですが、どうぞお気軽に参加していただいて自由な雰囲気での議論をしていただけたらと思います。

これまでも繰り返しお願いしていましたが、とくに研究集会におきましては、完成された研究成果の発表以外に、研究途上のもの、問題提起などの発表を歓迎いたします。口頭発表の時間に余裕をもたせ、議論の時間を確保できるようなプログラム編成を心がけたいと考えています。ご提案・ご要望等ありましたらぜひ事務局までお寄せ下さい。

3. 第6回国際根研究学会シンポジウム

組織委員会を中心に来年11月に迫ったシンポジウムの準備が着々と進んでいます。昨年研究会から文部省に申請していましたが、平成12年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(C)」が採択されまして、会場費などの一部の費用に対して補助が受けられることになりました。これに伴い、会場は名古屋大学の施設から名古屋国際会議場に変更になりました。また、これまで宣伝媒体として主としてホームページを使ってきましたが(<http://www.imicom.or.jp/~jsrr/isrr/>)、この科研費を使わせていただきまして、印刷物による宣伝、広報もすることにしました。そのファーストサーキュラーが刷り上がりましてので、本号に同封させていただきました。余部もございますので、必要な方は事務局までご連絡下さい。これを使って、まわりの研究者や学生の方々に対して、あるいは海外へのご出張の際に携行していただけてぜひ

宣伝をお願いします。また、研究者・機関、学会・研究会（国内外を問わず）等、このサーキュラーの送り先をご存じの方はぜひ事務局までご連絡下さい。

4. 学術会議会員選挙

さる5月22日に、学術会議講堂にて第18期会員選挙（推薦人会議）が行われました。ご承認していただいていた様に、本研究会からは山内（名古屋大学）が推薦人として出席しました。結果につきましては、学術会議から公表され次第お知らせ申し上げます。

5. 会員名簿

本誌とともに、2000年5月末現在の会員名簿をお届けいたします。会員相互の情報交流にぜひご活用いただければと存じます。会員数は、一般会員が484、団体会員が9、合計490です。

2000年6月 会長 山内 章

公示

2000年度根研究会賞推薦のお願い

以下の規定に基づき、2000年度根研究会賞の推薦をお願い致します。自薦・他薦を問いませんし、推薦者は会員でなくても結構です。ご推薦に当たっては、A4版の紙に候補者氏名、業績タイトル、業績の概要や意義などを記載し、業績一覧表および論文などの別刷を添付して下さい（コピーでも可）。なお、業績の概要を記した文書の作成においては、添付された業績一覧表に挙げられた文献との対応関係が明確になるような配慮をお願い申し上げます。

送り先は事務局で、締め切りは7月31日到着分までとします。

根研究会学術賞規定

1. 本会は、会則第3条に基づき、本規定を定める。
2. 本会は、植物の根（その他の地下器官を含む、以下同様）およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与したのに対して根研究会賞を贈り、これを表彰する。
3. 根研究会賞としては、根研究会学術功労賞、根研究会学術奨励賞、根研究会学術論文賞、および根研究会学術特別賞をおく。根研究会学術功労賞および根研究会学術奨励賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した根研究会会員の研究を対象とする（すでに原著論文として発表されたもので、少なくともその一部が、根研究会の研究集会・シンポジウムなどの会合、あるいは会誌などで会員に紹介されていること）。根研究会学術論文賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術に寄与した根研究会会員の論文を対象とする。発表媒体や発表形態（例えば、原著論文であるか総説であるか）を問わない。根研究会学術特別賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した業績を対象とする。会員であるかどうか、また、業績の形態（例えば、出版物かどうか）を問わない。
4. 根研究会賞はいずれも、会員もしくは関連分野の研究者などから推薦のあった対象について、評議員が審議し、その結果を踏まえて、会長および副会長が協議して決定を行なう。ただし、会長および副会長は任期中および任期満了後2年間は推薦すること、あるいは推薦されることができない。